

ひまわりと唯美主義

してきた私にとつて、ひまわりといえは19世紀末の芸術潮流のひとつ、唯美主義が思い起こされる。

末頃に伝わったといわれている。19世紀イギリスで展開した唯美主義と結びつき、象徴的なモチーフの一つとなった。

そして、この唯美主義には3つの象徴的モチーフがあった。孔雀、百合、そしてひまわりである。

孔雀は、唯美主義ではとりわけその羽根が「美(Beauty)」を表し、非常に唯美主義と相性が良かったと考えられる。また一方で、孔雀は富の象徴であるとともに、虚栄心の象徴としても知られる。[羽の闘う孔雀が壁に描かれたジェームズ・マクニール・ホイッスラーの「孔雀の間」は、その制作時の逸話を含め唯美主義的代表例である。



紹介された19世紀末の流行商品であった。暖炉周りのひまわりのモチーフの装飾品は、冬に暖かい暖炉の前で夏の日差しを思

ひまわりはアメリカ大陸原産であり、元々ネイティブ・アメリカンが食用としていた植物であった。これが、大航海時代にスペインを通してヨーロッパに伝えられ、食用のみならず観賞用として栽培されるようになった。

その後ヨーロッパ全土に広まり、イギリスへは16世紀末頃に伝わったといわれている。19世紀イギリスで展開した唯美主義と結びつき、象徴的なモチーフの一つとなった。

そして、この唯美主義には3つの象徴的モチーフがあった。孔雀、百合、そしてひまわりである。

孔雀は、唯美主義ではとりわけその羽根が「美(Beauty)」を表し、非常に唯美主義と相性が良かったと考えられる。また一方で、孔雀は富の象徴であるとともに、虚栄心の象徴としても知られる。[羽の闘う孔雀が壁に描かれたジェームズ・マクニール・ホイッスラーの「孔雀の間」は、その制作時の逸話を含め唯美主義的代表例である。

名寄市立大学に着任することになってから、名寄はひまわり畑で有名であることを知った。イギリス文化史を主に専攻

その後ヨーロッパ全土に広まり、イギリスへは16世紀末頃に伝わったといわれている。19世紀イギリスで展開した唯美主義と結びつき、象徴的なモチーフの一つとなった。

そして、この唯美主義には3つの象徴的モチーフがあった。孔雀、百合、そしてひまわりである。

孔雀は、唯美主義ではとりわけその羽根が「美(Beauty)」を表し、非常に唯美主義と相性が良かったと考えられる。また一方で、孔雀は富の象徴であるとともに、虚栄心の象徴としても知られる。[羽の闘う孔雀が壁に描かれたジェームズ・マクニール・ホイッスラーの「孔雀の間」は、その制作時の逸話を含め唯美主義的代表例である。

として好まれた。建築家トマス・ジェキルは、暖炉前に置くひまわりのモチーフの薪のせ台のデザインでよく知られている。

また、ひまわりの暖炉フェンダーも家具カタログなどでも

教養教育部講師

後藤礼圭